



将来を担う子どもたちに

No.7 九戸村学校再編だより
平成31年2月13日発行

より良い教育環境を提供するために

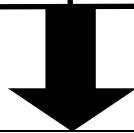
九戸村小中学校建設等整備委員会は、今まで6回の話し合いを行いました。3回までの話し合いや視察の状況は、広報「くのへ」でお知らせしました。その後、3回の整備委員会を開催し、アンケート調査の結果も取り入れ、4つの整備方針（1 充実した学びを支える場 2 豊かな心の醸成を支える場 3 安全で健康増進を支える場 4 小中一貫校の教育機能を支える場）と具体的な構想の方向性を協議しました。NO7では、上記の1, 2についてお知らせします。

1 充実した学びを支える場（学習空間の充実）

(1) 日照、採光、通風等に配慮し、柔らかく温かみのある感触や優れた調湿効果による学習環境を確保し四季を通して快適な施設とする。

(2) 将来の各施設部分の機能、需要等の変動に応じ、建物の自由な空間構成を可能とする適応性のある施設とする。

(3) 多様な学習内容・学習形態による活動を可能とするなど高性能かつ多機能で変化に対応し得る弾力的な施設とする。



具体的な構想

- ① 校舎の構造については、空気環境の調整された、快適な学習空間の整備に努める。窓は広めにとり、明るい教室や廊下などの採光に配慮する。また、耐震性、断熱性、気密性を十分に考慮する。さらに、地域性を生かして構造体から自然と調和した建造物とする。
- ② 校舎内には、経済的で効率の良い冷暖房を各部屋に設置する。また、掃除・メンテナンスがしやすく、教室の仕切りなどの使用目的に応じた配置替えも容易にできるようにし、教室間など用途に応じて汎用性がある施設とする。
- ③ 教室の空間については、国の基準を基本としながらも、全体的に余裕空間のある教室を整備する。
- ④ 国際化、情報化社会に対応し、各教室にWi-Fi、タブレットなどの情報環境を整備し、教室内においても情報のやり取りができるようにする。また、各教室にホワイトボード、プロジェクター、スクリーン、黒板用のLED等、教師や児童・生徒が使いやすく、学びやすい環境を整備する。

裏ページ続く。



2 豊かな心の醸成を支える場（文化空間の充実）

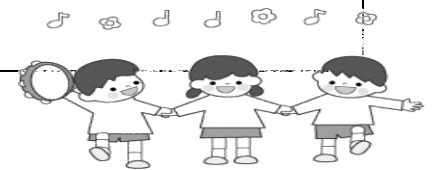
(1) 多様な体験を通して、豊かな人間関係を構築する施設とする。

(2) 地域の自然・歴史・伝統文化に触れ、特色を生かした教育ができる施設とする。

(3) 地域住民にとって交流・連携・協力の拠点として身近で使いやすい施設とする。

具体的な構想

- ① 職員室、図書室、特別支援教室、保健室、教育相談室交流ルームなどを校舎の中心に設置し、小学校と中学校相互が共有できる施設とする。
- ② 地域の歴史、文化、伝統などを幅広く学習できる施設とする。
- ③ 教室や廊下から四季を通じて花を愛で、自然に対する愛着が強まるような施設とする。
- ④ 地域の人たちとの交流や生涯学習にも対応できるような施設とする。



次号では、3 安全で健康増進を支える場、4 小中一貫校の教育機能を支える場の整備方針と具体的な構想内容をお知らせします。

【お問い合わせ先】 九戸村教育委員会事務局 （電話42-2111 内線302）